

令和6年度 第3回 金指小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年9月18日（水）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 金指小学校 さかみちホール
- 3 出席委員 山本 繁夫、高須 俊二、黒瀬 憲太郎、岩崎 美千代、石原 彰浩、
高木 克芳、内山 康子、巨島 信慶、山田 由紀
- 4 欠席委員 長島 里枝
- 5 学 校 前田 一成（校長）、縣 倫子（教頭）、柳田 葉子（CS担当教員）
- 6 教育委員会 牧野 知子
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 入手 佑香
- 9 議長の選出
岩崎委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）かなさし発見ポイントウォークについて

11 会議記録

司会の教務から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）かなさし発見ポイントウォークについて

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、11月27日（水）に開催予定をしている、「かなさし発見ポイントウォーク」の実施案について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ 体験型学習としてとてもよい案ながら、鐘楼門に上がる場合には、安全確保と保護者の理解も必要かと考える。また、階段の昇り降りには時間が掛かるため、人だかりになってしまうのではないかと。鐘楼門から見える町並みの景色を事前に撮影しておき、子供たちに伝える方法もある。（巨島委員）
- ・ 子供たちが、鐘楼門に寄り集まることが想定されるため、実相寺での民話読み聞かせを組み合わせることで時間調整できるようにしている。（教頭）
- ・ 安全確保については、事前に教員が下見を行い、危険度を確認する。また、当日は担当教員の配置をする。（教頭）
- ・ 昭和63年頃には、浜松北基地でブルーインパルスが東京オリンピックの五輪を描く練習をしていた。その様子を金指小から真正面に見ることができた。当時の写真があれば、子供たちも興味が湧き、面白いと思う。（石原委員）
- ・ 地域の方や団体などより多くの方に参加してもらうためには、地域のシニア女性の集いの場となっているミセキヤに協力していただき、ボランティア募集をしてはどうか。（高須委員）

（2）グループ協議（かなさし発見ポイントウォークについて）

【Aグループ 山本会長、黒瀬委員、石原委員、高木委員、教頭、校長】

- ・ 市神様の説明については、市神様と言われる理由、金指の中には市神様が複数あることなど、範囲を広めて話をする。
- ・ 鈴木家の槇の木は、呼び名としては、田端の槇である。屋敷内に入ることが可能かどうか。
- ・ 金指銀行があった場所や建物など分からない部分がある。
- ・ 白木屋の中には入ることができるが、配慮が必要である。
- ・ 活動内容について、学年の発達段階に応じて、行動力や認識力の違いがある。例えば、来年度は、高学年コース設定をして、少々険しい道を歩いたり、昔の道を知る探検コースを考えてはどうか。
- ・ 地域のボランティアリーダー的立場の方にボランティア募集の話をしたり、子供たちが、案内状のような手紙を書き、ボランティアリーダーの方に手紙を渡してはどうか。

【Bグループ 高須委員、巨島委員、岩崎委員、内山委員、山田委員、教務主任】

- ・ 実相寺の鐘楼門について、子供たちに興味を持ってもらいたいのので、上らせてあげたいが、安全面の心配がある。実際に登る場合には、複数人のボランティアを配置し、子供たちの安全を確保できる大人の目が必要になる。
- ・ 地域の方と触れ合うには、人が集まる場所へ子供たちが行けるコースがあるとよい。坂の上の学校まで来ることが大変な方もいると思う。
- ・ 縦割り活動の良さでもあるが、体力的な面などの学年差が出てくる。ポイント場所の中で行き来できる所もあるとよいのではないか。
- ・ ボランティア募集について、参観会、シニアクラブ、安心安全まちづくり協議会など人が集う場で、具体的な活動内容を伝え、募集を呼び掛けてはどうか。

・ その他報告事項等

司会から、次回会議は、2月14日（金）午後3時からさかみちホールで開催する旨の報告があった。